

# 研究所だより

第303号  
2010年12月20日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3015

## <子どもに好かれる先生5つの法則>—甲本 卓司 著

### 3, 明るくやさしい先生が好き

#### (1)、笑顔が一番

何と言っても教師は笑顔が一番である。

教師はクラスの統率者だ。その教師が一日中こわばった表情でいたら、子ども達は教師の顔色をうかがうようになり、教室全体の雰囲気が悪くなってしまふ。こういう教師と1年間一緒に過ごすと、子ども達の表情は乏しくなっていくだろう。反対に、教師が笑顔でいれば子ども達は安心して授業を受けることができ、教室が明るい雰囲気になっていく。このようなクラスには、友だちの悪口やいじめは自然となくなっていく。

これは、休み時間だけのことではない学校生活の中で大半を占める授業中こそ教師が笑顔でいるのである。教室の統率者がいつも明るければ、子ども達は安心して伸び伸びと学校生活を送ることができるであろう。

#### (2)、「やさしい」=「厳しくない」?

「やさしい」という意味は、「厳しくない」と勘違いされやすい。特に若い教師に勘違いが多い。大学を出たての教師は、可愛らしい子ども達と出会い、「よし、この子達と仲良くするぞ」と決意する。「先生、一緒に遊ぼうよ」「先生、席替えして」などと子ども達が無邪気に言ってくると、「うん、そうしよう」とすぐに受け入れる。

最初のうちは、かわいい要求だ。しかし、子ども達は敏感である。少々のわがままを聞いてくれると感じ取ったら、その要求はどんどんエスカレートしていく。「先生、キーホルダーを持ってきていい」「先生、宿題を減らして」と学級の根幹に関わるような過激な要求をするようになる。それに気づかない教師は、子どもの期待に応えようと全ての要求を受け入れてしまう。

やさしい教師というのは、子どもの要求を全て受け入れる教師ではない。その子の将来や学級全体のことを考えて、「ダメなものはダメ」だと言える教師こそがやさしいのである。

つまり、「やさしい」というのは、厳しさと相反するものではないのである。一番良いのは、子ども達から「厳しいけど、やさしい先生」と思われるような教師になることである。

#### (3)、クラスで立場の低い子にやさしい教師

##### ①. 忘れ物をする子にやさしい教師

よく、忘れ物をした子どもにがみがみと説教したり、罰を与えたるする教師を見かける。

忘れ物は、その子の家庭環境が大いに関係している。だから本人の責任ではない。しかし、忘れ物を許せない教師は「自分のことは自分でしなさい」とその子を突き放す。さらには、「その時間は他の勉強をしておきなさい」と言う。このような教師は、とてもじゃないが、やさしい教師とは言えない。

その子は、忘れ物がなくなるどころか、勉強ができなくなってしまう。では、子どもが忘れ物をした場合は、どのように対処すればよいのだろうか。一番よいのは、【教師がたくさん予備を持っておき、貸してやる。】ことだ。そのために、教師は消しゴムや赤鉛筆、定規などたくさん用意しておきたい。特に忘れ物が多い子がいても説教する必要はない。「次からは持ってこれるよね」と毎日のように励まし続けるのだ。

##### ②. 勉強ができない子にやさしい教師

算数の時間に、練習問題が解けずに鉛筆が止まってしまっている子がいるとする。この子にどのように指導すればよいだろうか。

よくない方法は、個別指導を延々と続けることである。これをする教師は、これが優しさだと思い込んでいる。こうすれば、その子が解けるようになるのだと信じているのである。

しかし、子どもの立場からするとそうではない。教師がつきっきりで勉強を教えるということは、周囲に「その子は勉強ができない子だ」と教えているようなものである。

その子にだってプライドがある。教えられている子は内心、「もう、やめてくれ」と思っているかもしれない。だから個別指導はできるだけ短時間でやりたい。

次のようにするとよいだろう。

#### 【赤鉛筆で薄く計算の過程を書いてやり、それをなぞらせる。】

教師は、鉛筆が止まっている子を見つけたら、後ろからそっと近づき、素早く赤鉛筆で薄く書いてやる。「薄く」というのは子どもが後からなぞると赤がほとんど見えないくらい「薄く」である。

これを毎時間続けることで、少しずつ自分で書ける部分が増えていくだろう。子どもがなぞって持ってきたら「〇〇君、よくやったね」と大いにほめてやればよい。

子どもは、このような教師の行動をみている。勉強ができない子、特別な支援を必要とする子に対して優しく接していれば、自然と周りの子も同じような行動をとるようになっていく。

## <ぼけたらあかん 長生きしなはれ>

年をとったら出しゃばらず 憎まれ口に泣きごとに  
人のかげぐち愚痴いわず 他人のことは誉めなはれ  
知ってることでも知らんふり いつでもアホでいるこっちゃ  
ぼけたらあかん ぼけたらあかん 長生きしなはれや

勝ったらあかん負けなはれ いずれお世話になる身なら  
若いもんには花持たせ 一歩さがってゆずりなさい  
いつも感謝を忘れずに どんな時でもおおきにと  
ぼけたらあかん ぼけたらあかん 長生きしなはれや

なんぼゼニカネあつても 死んだら持って行けまへん  
あの人にはほんまにええ人や そないに人から言われるよう  
生きていうちにバラまいて 山ほど徳を積みなはれ  
ぼけたらあかん ぼけたらあかん 長生きしなはれや

そやけどそれは表向き 死ぬまでゼニを離さずに  
お金があるから大事にし みんなべんちゃらいうてくれる  
内緒やけれどほんまだっせ  
ぼけたらあかん ぼけたらあかん 長生きしなはれや

我が子に孫に世間さま どなたからでも慕われる  
ええ年寄りになりなはれ 頭の洗濯生きがいに  
何か一つの趣味持って せいぜい長生きしなはれや  
ぼけたらあかん ぼけたらあかん 長生きしなはれや

師走も押し迫り、早くも2010年も終わりです。頭の方も柔らかく、笑って最後の華を飾りましょう。 笑う門には福来たる

皆様ご家族お揃いでよいお年をお迎えください  
2011年がお互いの飛躍の年でありますように

